**2022年度**

**ライフサイエンスデータベース統合推進事業**

**統合化推進プログラム**

**研究開発提案書　記入要領**

# 研究開発提案書（様式）の記入要領

提出書類の一覧は以下の通りです。次ページ以降の研究開発提案書の記入要領に従い、研究開発提案書を作成してください。

|  |  |
| --- | --- |
| 様式番号 | 書類名 |
| 記入要領 | 統合化推進プログラム研究開発提案書　記入要領 |
| 表紙 | 統合化推進プログラム研究開発提案書　表紙 |
| 様式1 | 研究開発提案の要旨 |
| 様式2 | 構想 |
| 様式3 | 実施体制 |
| 様式4 | 予算計画 |
| 様式5 | 業績リスト・事後評価結果（研究代表者） |
| 様式6 | 業績リスト（研究分担者） |
| 様式7 | 主要な特許リスト（研究代表者・研究分担者） |
| 様式8 | 他制度での助成等の有無  |
| 様式9 | 人権の保護および法令等の遵守への対応  |
| 様式10 | 特記事項 |
| 別紙 | 提出前確認チェックシート（本シートは削除し、提出しないでください。） |
| 改訂履歴 | 改訂履歴（本シートは削除し、提出しないでください。） |

※ ファイルの容量は10MB以内で作成ください。

※ 研究開発提案書作成前に必ず公募要領「2.6.1　応募者の要件」の項目e（本プログラムの研究総括との利害関係に関する項目）をご確認ださい。明確に判断し難い項目が1つでもある場合には、事前に下記までお問い合わせください。

　・ 利害関係問い合わせE-mail：nbdc-funding@jst.go.jp

※ 研究開発提案の応募方法については、公募要領「2.7応募方法」をご参照ください。応募はe-Radを通じて行っていただきます（同「別紙1」参照）。

※ 応募に当たっては、公募要領「第4章 応募に際しての注意事項」をご理解の上、ご応募ください。

# 2022年度統合化推進プログラム研究開発提案書　表紙

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 様式の記入に当たっては、公募要領「第4章 応募に際しての注意事項」を必ずご確認ください。
* こちらのページより提出ください（これより前のページは提出時には削除してください）。

|  |  |
| --- | --- |
| **研究開発課題名** |  |
| **開発対象データベースの名称（URL）** | (https://) |
| **研究代表者氏名** |  |
| **所属機関・部署・役職** |  |
| **研究者番号※** |  |
| **学歴****(大学卒業以降)** |  |
| **研究歴****(主な職歴と研究内容)** |  |
| **研究代表者の情報** | https:// |
| **研究開発期間** | 〇〇〇〇年　〇月～〇〇〇〇年　〇月　(〇年間) |
| **希望する研究開発費** | 全研究開発期間での研究開発費希望総額 (〇〇,〇〇〇万円)（直接経費のみ） |

※ 研究者番号：e-Radに研究者情報を登録する際に付与される8桁の番号

# 研究開発提案の要旨

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 400字程度で研究開発の目的と計画を記載。
* 本項目をe-Rad入力項目の「研究目的」「研究内容」に転記頂いても構いません。

（←ここから記載）

# 構想

## 1．研究開発対象とするデータベース・ツール等

### 1-1．主なデータベースについて

#### 1-1-1.基礎情報

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **名称** |  |
| **2** | **別称** |  |
| **3** | **URL** | https:// |
| **4** | **概要** |  |
| **5** | **公開開始日** |  |
| **6** | **主な論文の書誌情報** | 著者名（全員分）、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL2報以内。 |
| **7** | **ソースコードや関連ドキュメントの掲載場所** | 無し／有り | https:// |
| **8** | **データセットの一括ダウンロード機能** | 無し／有り | https:// |

#### 1-1-2.システム構成

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 応募時点での主なデータベースのシステム構成を、概ね1ページ以内で記載してください。
* 必要に応じて図や表を用いてもかまいません。
* サーバーの物理的所在、管理者・機関、その他サーバースペック等を記載。
* 研究開発期間中に変更を予定している場合はその旨を記載。

（←ここから記載）

#### 1-1-3. 対象とするデータベース

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 公募要領「2.1.2対象とするデータベースとその要件」について、満たしている項目をチェック（☑もしくは■）してください。
* 要件b～hのうち、応募時点で満たされていないものがある場合は、中間評価時（第3年次中に実施予定）までに満たす具体的な計画を立案し、「4-1. 実施計画」「4-2. 達成目標（マイルストーン）」に記載してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **チェック** | **対象とするデータベース条件** | **提案書中の関連項目** |
| □ | a 次のいずれかに該当するデータベース（応募時点で必ず満たしているべき要件）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| □ | (1) | 国際基準の基盤データベース構築に向けて国際連携による統合を目指すデータベース。 |
| □ | (2) | 利用者による知識発見・課題解決を支援する機能に特徴のあるデータベース。 |
| □ | (3) | 研究ニーズや実験技術の新しい動向に対応するためのデータベース。 |
| □ | (4) | 国際的プレゼンスを有し更なる高度化や機能拡張を目指すデータベース。 |

 | 「2．研究開発の背景」「3.研究開発のねらい」 |
| □ | b 搭載・公開する研究データは、原則として網羅性がある。搭載する範囲を限定する場合、限定する範囲が想定される利用者の目的に照らして適切である。 | 「3-2.搭載するデータ」 |
| □ | c 搭載・公開する研究データは、品質が明確な基準に基づいて検証される。必要に応じて標準化、改訂、増補等が行われる。 | 「4-3.搭載データの品質管理方法」 |
| □ | d 搭載・公開するデータの形式や構造、オントロジー、ID、メタデータ等は、ライフサイエンス分野や隣接分野のデータと連結されて統合的に利用されることを前提として開発され、また整備されている。本事業で開発を進めてきた統合化技術（※）と互換性を有することが望ましい。※ 本事業では「基盤技術開発」として、Resource Description Framework（RDF）を中核とした複数データベースの連携・統合的活用を促進するための技術開発を実施。研究データのRDF化については、公募要領「3.5.3 NBDC RDFポータル」を参照。 | 「3-2.搭載するデータ」「4-4.オントロジー」「4-5.データおよびデータベースの接続性（RDF化への対応等）」「4-6.データベース間の連携」 |
| □ | e 利用者が了解を得ることなしに、営利目的も含め、データを改変した上で再配布すること等を可能とする。例えば、研究開発対象のデータベースの利用許諾条件として、CC BY-SA、CC BY、又はCC 0（※）を採用することが望ましい。ただし、ヒト試料を用いた研究等の成果として産生され、かつ倫理的な配慮を要するデータを取り扱う場合、前文の条件に関わらず、適切なアクセス制限のレベルを設定し、データの利用に先だってその可否を審査する。※ CC BY-SA、CC BY、CC 0については、「クリエイティブ・コモンズ・JAPAN」のサイトを参照。 クリエイティブ・コモンズ・ライセンスについて https://creativecommons.jp/licenses/ | 「4-7.データベースの利用許諾条件」 |
| □ | f 研究開発対象のデータベースの利用状況を測るための指標が、データベースを構築する目的に応じて適切に設定されており、今後さらなる利用の拡がりが期待できる。指標の例：利用者数、ページ閲覧数、データダウンロード数、利用者の研究分野等の多様性、国内外別の利用状況、開発したデータベースを使って解析がされた論文や学会発表の数、知的財産権の出願数、共同研究の実施数等。 | 「3-3.利用者像」「3-4.期待される効果・インパクト」「4-8.利用の現状」 |
| □ | g 関連する国内外の研究コミュニティ（研究機関、学会、学術論文出版社等）と密に連携して開発・運用がなされている。 | 「4-9.研究者コミュニティ等との連携」 |
| □ | h （主なデータベース以外のデータベースを開発対象とする場合）ファイル形式、オントロジー、ID、インターフェース等について主なデータベースと相互に有機的な連携がなされている。

|  |  |
| --- | --- |
| □ | 主なデータベースとは別のデータベースを研究開発対象としない。 |
| □ | 相互に有機的に連携している。 |

 | 「4-4.オントロジー」「4-5.データおよびデータベースの接続性（RDF化への対応等）」「4-10.ユーザーインターフェースの設計」 |
| □ |  公募要領「2.3 研究開発期間」「3.4.1 中間評価・事後評価」に記載の5年間を上限とする研究開発期間の延長を希望する。希望する場合は、「5. 研究開発期間終了後の維持・運用計画」欄に、延長により得られる効果・成果の見通しを明記してください。 | 「5.研究開発期間終了後の維持・運用計画」 |

### 1-2．そのほかの研究開発対象

【註記】（このコメントは削除して提出してください）

* 研究開発課題が研究開発を行うデータベース（主なデータベース）は基本的に1つとします。
* 互いに独立して運用される2つ以上のデータベースを研究開発対象とすることはできませんが、主なデータベースに有機的に連携するデータベースやツール等（※）については、主なデータベースの価値を直接的に高めるための最低限な維持・更新や研究開発のみ可能です。

※ 「ツール等」は、ビューア、解析ソフトウェア、プラグイン等。

* 適宜、行を増減してください。

#### 1-2-1.そのほかのデータベース

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **名称** | **URL** | **管理者** | **概要（主なデータベースとの連携内容）** |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

#### 1-2-2.ツール等一覧

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| **No.** | **名称** | **URL** | **管理者** | **概要（主なデータベースとの連携内容）** |
| 1 |  |  |  |  |
| 2 |  |  |  |  |
| 3 |  |  |  |  |
| 4 |  |  |  |  |
| 5 |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |

## 2．研究開発の背景

### 2-1.研究分野の位置づけ

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 搭載するデータの対象研究分野や利活用が想定される分野の状況を、概ね1000文字以内で記載してください。

（←ここから記載）

### 2-2.データベースの位置づけ

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 開発するデータベースが必要とされる理由、類似するデータベースが既にある場合はそれらとの違い、新たなデータベースを開発しなければならない理由、既存データベースに対する優位性や差別化ポイント等を、概ね1000文字以内で記載してください。

（←ここから記載）

## 3．研究開発のねらい

### 3-1.構想

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 本提案の実施を通じて、どのようなデータベースを目指すのか、研究開発終了時点およびその後の将来構想として研究コミュニティにとってどのような価値を提供するか、いかに日本のライフサイエンス研究にイノベーションをもたらし得るか等について、1ページ以内で記載してください。
* 新たに開発するデータベースの場合、予備的な研究結果がある場合は、その結果を示した上で、構想の実現性について記載してください。

（←ここから記載）

### 3-2.搭載するデータ

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* データベースに収録するデータの種類・範囲・量（採択時、研究開発期間終了時の見込み）、収録するメタデータの構成を簡潔に記載してください。
* 収録するデータの範囲を限定する場合は、限定する際の選択基準、データベースの目的に照らして適切だとする理由等を簡潔に記載してください。

（←ここから記載）

### 3-3.利用者像

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究分野、研究スタイル（Wet/Dry）、利用目的（仮説導出、実験結果の検証、結果の考察等）、データベースの利用頻度、地域（国内外）、合わせて利用されるデータベース等、想定している主な利用者層の具体的なイメージを簡潔に記載してください。
* 本研究開発提案を通じて、応募時点の主たる想定利用者層とは異なる層を新たな利用者として獲得することを企図する場合、応募時点の主たる想定利用者層の他に、新たに獲得を目指す利用者層のイメージを併記してください。

（←ここから記載）

### 3-4.期待される効果・インパクト

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 開発したデータベースによる科学技術への効果（当該分野の研究開発にどのような影響をもたらすか）、産業への寄与、社会課題や解決策の提示等（本提案の研究成果ではなく、開発したデータベースを提供することによってもたらされる効果や変容等）を、想定し得る範囲で、概ね1000文字以内で記載してください。

（←ここから記載）

## 4．実施計画

### 4-1.実施計画

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 実施計画の概要を概ね10ページ以内で記載してください。
* 必要に応じて適宜、スタイル［見出し4］以下の見出しを立ててください。
* 必要に応じて図表を用いても構いませんが、e-Radのアップロード上限は10MBですのでご留意ください。
* 「V. 業績リスト・事後評価結果（研究代表者）」の記載内容を適切に引用してください。
* 基本構想ならびに「4-2.達成目標（マイルストーン）」を達成するための具体的な実施計画や達成に当たって予想される問題点とその解決策等を記載してください。
* 次の研究開発活動が含まれる場合は、選考の対象外とします（公募要領「2.1.4 対象外の研究開発内容」を参照のこと）。
	1. JSTが直接運営するデータベース、本プログラムの現採択課題（2017年度に採択し、2021年度終了する課題を除く）が研究開発するデータベース、又は他のファンディング機関や制度において整備が進められているデータベースやそれに類似するデータベースの構築、運用、更新（例えば、ヒト試料由来データのリポジトリであるNBDCヒトデータベース（概要は公募要領「3.5.4 NBDCヒトデータベース」参照）、日本医療研究開発機構「ゲノム・データ基盤プロジェクト」で整備を進めているデータベース等）。
	2. データベースに搭載するデータの産生を目的とした生物実験の実施。
	3. 開発対象データベースの収録データを用いた主体的な解析のうち、未公開データに基づく新たな科学的知見を目的とした研究開発。

（←ここから記載）

### 4-2.達成目標（マイルストーン）

#### 4-2-1. ロードマップ（線表）

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 「3. 研究開発のねらい」を実現するまでの5年間で実施する研究開発内容のおおまかなロードマップ（線表）を記載してください（※）。

※ 公募要領「2.1.2対象とするデータベースとその要件」のb～hの条件のうち、応募時点で満たされていないものがある場合、中間評価時（第3年次中に実施予定）までに条件を満たすことが必要ですので、ご留意ください。

* 必要に応じて適宜、行を増減してください。（例）の行は削除してください。

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| **実施する研究開発項目** | **2022****年度** | **2023****年度** | **2024****年度** | **2025****年度** | **2026****年度** |
| （例） 〇〇データ公開システムの開発 | ● | ● | ● | ● | ● | ● | ● |  |  |  |
| （例） 〇〇データの更新 |  |  |  |  | ● | ● | ● | ● | ● | ● |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

#### 4-2-2．中間評価時までの達成目標

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 中間評価時（第3年次中に実施予定）までに達成を目指す目標を可能な限り具体的な指標を用いて簡潔に記載してください。
* 公募要領「2.1.2対象とするデータベースとその要件」の項目b～hの要件のうち、応募時点で満たされていないものがある場合、中間評価時までに要件を満たすことが必要ですので、ご留意の上、目標設定してください。
* 採択後、各年度の進捗把握の指標の一つとして用います。

例：

* 公共データベースの全データを精査し、2024年9月までに最低でも〇〇つの生物種の〇〇データを〇〇データベースから公開する、
* 〇〇分野、〇〇分野の専門家と協議し、接続性の高いオントロジーを2024年9月までに開発する、
* データ整理に係る時間を2024年9月までに〇〇％低減する、
* 2024年9月までにユーザーインターフェースを刷新し、目的とする情報へ辿り着くまでの平均時間を〇〇％低減する、
* 2024年9月までに再訪問率（訪問数/訪問者数）を応募時点比で〇〇％以上増加させる等。

（←ここから記載）

#### 4-2-3．第５年次末までの達成目標

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 第5年次末までに達成を目指す目標を可能な限り具体的な指標を用いて簡潔に記載してください。
* 採択後、各年度の進捗把握の指標の一つとして用います。

（←ここから記載）

### 4-3.搭載データの品質管理方法

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 品質管理の人員体制、チェックの基準や手順の概要、基準の研究者コミュニティへの周知方法等について簡潔に記載してください。

（←ここから記載）

### 4-4.オントロジー

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 使用するオントロジーの区分、名称、URL（あれば）、概要を簡潔に記載してください。
* 広く一般に使われているオントロジーを用いることを推奨します。独自に拡張、開発する（した）場合にはその旨と理由を記載してください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **区分** | **名称** | **URL** | **概要** |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |
|  |  |  |  |

### 4-5. データおよびデータベースの接続性（RDF化への対応等）

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* RDFを採用する場合は、RDF化への対応について簡潔に記載してください。
* RDF化しない場合、どのような方法によってデータおよびデータベースの接続性を実現するかを具体的に記載してください。

（←ここから記載）

### 4-6.データベース間の連携

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 本研究開発提案とは独立に運営されているデータベースのうちで現在連携しているデータベース（名称、URL、概要、連携の内容（例：API等で特定の項目を参照している／されている、データ・メタデータを共有等））等について記載してください。
* 必要に応じて図表を用いて記載してください。

（←ここから記載）

### 4-7.データベースの利用許諾条件

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* どのような利用許諾条件を採用しており、どのように表示しているかについて概要を簡潔に記載してください。
* 応募時点で公募要領「2.1.2対象とするデータベースとその要件」の項目e （利用者が了解を得ることなしに、営利目的も含め、データを改変した上で再配布すること等を可能とする。例えば、研究開発対象のデータベースの利用許諾条件として、CC BY-SA、CC BY、又はCC 0を採用することが望ましい。）を満たしていない場合は、中間評価時（第3年次中に実施予定）までに満たすための計画を記載してください（データ提供者への周知、連絡が取れない場合の対応等）。
* ヒト試料を用いた研究等の成果として産生されたデータについては、倫理的な配慮を要するものであってアクセス制限が必要か否か、アクセス制限を行う場合にはデータの利用の可否を審査する体制等について記載してください。
* ヒト試料を用いた研究等の成果として産生されたデータを含む場合には、当該データの取り扱いについてNBDCヒトデータ共有ガイドラインおよびNBDCヒトデータ取扱いセキュリティガイドライン（※）を遵守してください（公募要領「3.5.4 NBDCヒトデータベース」を参照のこと）。

※ https://humandbs.biosciencedbc.jp/guidelines

（←ここから記載）

### 4-8.利用の現状（既にデータベースが構築・運用されている場合のみ記載）

#### 4-8-1.アクセス数実績

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **2017年度** | **2018年度** | **2019年度** | **2020年度** | **2021年度** |
| **訪問者数** |  |  |  |  |  |
| **訪問数** |  |  |  |  |  |
| **ページ数** |  |  |  |  |  |

表．これまでの実績（年度別月間平均）

各項目の定義は以下の通り。

* 訪問者数： ユニークIP数等、訪問した個々のユーザー数。
* 訪問数： セッション数等、ユーザーがサイトを訪問した回数。
* ページ数： ユーザーが訪問した際に読み込んだページ数。

#### 4-8-2.データベースを利用して得られた、第三者による成果論文

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 書誌情報（著者名、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URL）、成果の概要、データベースがどのような観点で用いられたか（仮説導出、実験結果の検証、研究データの登録、結果考察、データベースの構築、総説における参照 等）を記載し、主な論文5報以内を記載してください。
1. （←ここから記載）

#### 4-8-3.その他、利活用状況を表す指標

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 上記以外で、データベースの利用状況を表す指標（ftpサイトからのダウンロード数、利用者の研究分野等の多様性、知的財産権の出願数、共同研究の実施数、問い合わせ件数等）があれば、簡潔に記載してください。

（←ここから記載）

### 4-9.研究者コミュニティ等との連携

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 関連する研究コミュニティとの協議・連携・協力等の実績と、今後の計画を簡潔に記載してください。
* 大学、研究所等の組織、学協会へのデータ提供に係る働きかけやデータベース運用等に関する提携・協力、規模の大きなデータ産生プロジェクト（新学術領域研究、CREST等）へのデータ提供に係る働きかけ（開発対象のデータベースがリポジトリ機能を有する場合）、学術論文出版社等への推奨化に係る働きかけ、ユーザー会議、利用者講習会等。
* ワークショップ等を開催した（する）場合には、会議名称、目的、開催時期・頻度、委員名簿（氏名、所属、役職）等を記載してください。
* Webフォームを設置する場合は、URLや設問項目等を記載してください（既に設置している場合は、設置からの年数、年間の投稿数(概数)、主な投稿内容と対応状況の概要等を記載）。

（←ここから記載）

### 4-10.ユーザーインターフェースの設計

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 以下の項目について簡潔に記載してください。
* 魅力的に見せるためのグラフィックデザインではなく、初見時の違和感や習熟コストを低減するためや、より早く目的とする情報にたどり着くため等、利用者がスムーズにデータベースの機能を理解して活用できるようにするためのインタラクティブなインターフェース・デザインを構築する上での方策、カラーバリアフリー等のユニバーサルデザインに配慮した対応、モダンブラウザ、モバイル端末への対応等。
* 主なデータベース以外のデータベースも開発対象とする場合は、主なデータベースとのインターフェース設計上の有機的な連携等。

（←ここから記載）

## 5．研究開発期間終了後の維持・運用計画

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究開発期間の終了後に、データベースを維持・運用するための研究・開発体制等を簡潔に記載してください。
* 上記に加え、公募要領「2.3 研究開発期間」「3.4.1 中間評価・事後評価」に記載の研究開発期間の延長を希望する場合は、その旨を明記した上で、延長により得られる効果・成果の見通しを簡潔に記載してください。

（←ここから記載）

## **6**．**前研究開発課題の概要・成果と本研究開発提案との相違点**

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* これまでに本プログラムに採択されている場合のみ記載してください。

（←ここから記載）

## **7. 利益相反に関するマネジメントに関する申告**

### 7-1. 研究代表者の利益相反マネジメントに関する申告

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 公募要領「2.8.2（2）研究代表者の利益相反マネジメント」記載の「研究代表者に関係する機関」に所属する研究者を研究分担者とする場合は、「研究代表者に関係する機関」の機関名、ならびに研究代表者と「研究代表者に関係する機関」との間の利益相反について、公募要領「2.8.2（2）研究代表者の利益相反マネジメント」のa～dのいずれに該当するかを記載した上で、理由を具体的に記載してください。
* 「研究代表者に関係する機関」に所属する研究者を研究分担者としない場合も、下の「無」にチェックを入れてください。
* 「研究代表者に関係する機関」とは、以下のいずれかに該当する場合をいいます。なお、a 及びbについては研究代表者のみではなく、研究代表者の配偶者及び一親等内の親族（以下、「研究代表者等」と総称します。）についても同様に取り扱います。
	1. 研究代表者等の研究開発成果を基に設立した機関。（直接的には経営に関与せず技術顧問等の肩書きを有するのみの場合、株式を保有しているのみの場合を含む。）
	2. 研究代表者等が役員（CTOを含み、技術顧問を含まない。）に就任している機関。
	3. 研究代表者が株式を保有している機関。
	4. 研究代表者が実施料収入を得ている機関。

（←ここから記載）

研究代表者に関係する機関：　[ ] 有　　[ ] 無

当該機関の名称（研究分担者名）：株式会社○○（科学太郎）

該当項目： 2.8.2（2）に定める要件のうち○に該当する。

理由：

### 7-2. JSTの利益相反マネジメントに関する申告

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 公募要領「2.8.2（3）JSTの利益相反マネジメント」記載のJSTの出資先企業が研究実施予定機関として研究チームに含まれるか否かを記載してください。
* JSTの出資先企業が研究実施予定機関として含まれない場合は、下の「無」にチェックを入れてください。

※ JSTの出資先企業については以下ウェブページを参照してください。なお、出資を終了した企業は利益相反マネジメントの対象ではないため、申告の必要はありません。

 出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS） 出資実績

 https://www.jst.go.jp/entre/result.html#M01

※ 申告の基準日は本プログラムの公募開始日とします。当該日時点でJSTからの出資が公表されている企業について申告してください。出資内定済み等であるものの未公表の企業については、JST内部の機密保持のため、申告の必要はありません。

 JSTの出資公表については以下ウェブページを参照してください。

 出資型新事業創出支援プログラム（SUCCESS） 新着情報一覧

 https://www.jst.go.jp/entre/news.html

（←ここから記載）

JSTの出資先企業の参画：　☐有　　☐無

当該機関の名称（研究代表者名）：株式会社○○（科学太郎）

当該機関の名称（研究分担者名）：株式会社○○（科学太郎）

## **8.** **若手研究者の多様なキャリアパスの支援について**

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 若手研究者に対する多様なキャリアパスを支援する活動計画として、機関が行う企業等と協働して行う講義、長期インターンシップ、企業交流会、カウンセリング等への参加の推奨、異分野を含めた研究活動への主体的な参加の推奨等について、簡潔に記載してください。

（←ここから記載）

# 実施体制

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究代表者が所属する研究機関の研究参加者（研究代表者、研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）からなる「研究代表者グループ」の概要を記載してください。
* 研究分担者グループを編成する場合は、研究分担者が所属する研究機関の研究参加者（研究分担者、研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）からなる「研究分担者グループ」の概要を記載してください。
* 研究代表者や研究分担者、研究体制にかかる要件は、公募要領「2.6.1 応募者の要件」、「2.6.2 研究体制の要件」、「2.6.3 研究機関の要件」を参照してください。
* 研究機関・部署：現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載し、「特記事項」に事情を記載してください。
* 研究参加者氏名：研究代表者、研究分担者以外の研究参加者（研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）を記載。提案時に氏名が確定していない場合、「研究員○名」等と記載してください。
* 本提案での役割：「○○サーバーの管理」「○○データセットの整理」等。箇条書きで記載してください。
* 研究参加者の行は、必要に応じて追加してください。

## 1．研究代表者グループの研究実施体制

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究代表者氏名** | **研究機関・部署・役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
| **研究参加者氏名** | **所属機関・部署**(上記と同じ場合には省略)・**役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

### ○ 特記事項

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究機関・部署：現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、その事情を記載してください。
* 特別の任務等(研究科長等の管理職、学会長等)に仕事時間を要する場合、その事情・理由を記載してください。

（←ここから記載）

### ○ 研究開発実施項目および概要

#### ・研究題目

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* （例）「○○○○データベースの開発と運用」等。

（←ここから記載）

#### ・研究開発概要

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究代表者グループが担当する研究の概要を簡潔に記載してください。
* 研究代表者グループのみの場合、記載不要です。

（←ここから記載）

#### ・研究開発構想における位置づけ

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 「研究開発構想」を実現するために研究代表者グループが果たす役割等を記載してください。
* 研究代表者グループのみの場合、記載不要です。

（←ここから記載）

## 2．研究分担者グループの研究実施体制

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究代表者の所属機関以外の「研究グループ」を設置する場合、研究機関ごとに記載してください。
* 「研究グループ」の数に上限はありません。また、産学官からの様々な研究機関を「研究グループ」とすることが可能です。
* 「研究グループ」ごとの研究参加者数に応じて、表を追加・削除してください。

### 2-1.研究分担者グループ（1）

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究分担者グループが複数ある場合は、「2-2.研究分担者グループ（2）」、「2-3.研究分担者グループ（3）」・・・というように、項目を増やして記載してください。
* 研究分担者グループ（1）がない場合は「2-1.研究分担者グループ（1）」の項目ごと削除してください。
* 研究機関・部署： 現在の所属機関と採択後研究を実施する機関が異なる場合には、研究を実施する機関を記載し、「特記事項」に事情を記載。
* 研究者番号： e-Radに研究者情報を登録する際に付与される8桁の番号。
* 研究機関コード： e-Radに所属研究機関を登録する際に付与される10桁の番号。
* 研究参加者氏名： 研究分担者以外の研究参加者（研究に従事する研究員、技術員、研究補助員、学生等）を記載。提案時に氏名が確定していない場合、「研究員○名」等と記載。
* 本提案での役割： 「○○サーバーの管理」「○○データセットの整理」等。箇条書きで記載。
* 研究参加者の行は、必要に応じて追加してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **研究分担者氏名** | **研究機関・部署** | **役職** |
|  |  |  |
| **研究者番号** | **研究機関コード** |
|  |  |  |
| **研究参加者氏名** | **所属機関・部署**(上記と同じ場合には省略)・**役職** | **本提案での役割** |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |

### ○ 研究開発の担当項目

#### ・研究題目

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* （例）「○○○○機能の開発」等

（←ここから記載）

#### ・研究開発概要

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究分担者グループ（1）が担当する研究の概要を簡潔に記載。

（←ここから記載）

#### ・研究開発構想における位置づけ

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 「研究構想」を実現するために研究分担者グループ（1）が果たす役割等を簡潔に記載。

（←ここから記載）

# 予算計画

## 1．費目別の予算計画

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 実施計画を遂行するために必要な経費を記載してください。
* その他のデータベース（主たるデータベース以外のデータベース）については、主なデータベースの価値を直接的に高めるための最低限な維持・更新や研究開発のみが可能であることにご留意ください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **第１年度**(2022.4～2023.3) | **第2年度**(2023.4～2024.3) | **第3年度**(2024.4～2025.3) | **第4年度**(2025.4～2026.3) | **第5年度**(2026.4～2027.3) | **合計**(百万円) |
| **設備備品費** |  |  |  |  |  |  |
| **消耗品費** |  |  |  |  |  |  |
| **旅費** |  |  |  |  |  |  |
| **人件費・謝金****(研究員の数)** | () | () | () | () | () |  |
| **その他** |  |  |  |  |  |  |
| **合計**(百万円) |  |  |  |  |  |  |

※ 直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。

＜費目ごとの主な使途等＞

a. 物品費

* 設備備品費： 研究用設備（※1）・備品・試作品等を購入するための経費
* 消耗品費： 消耗品を購入するための経費

b. 旅 費： 研究開発計画書記載の研究参加者の旅費

c. 人件費・謝金

* 人件費・謝金： 研究参加者（ただし、研究代表者と研究分担者を除く（※2、※3））の人件費、講演依頼謝金等の経費
* 研究員の数： 研究費で人件費を措置する予定の研究員の人数

d. その他： 研究成果発表費用（論文投稿料等）、機器リース費用、運搬費等）（※2）

※1 新たな研究設備・機器の購入にあたっては、「研究組織のマネジメントと一体となった新たな研究設備・機器システムの導入について」（平成27年11月科学技術・学術審議会先端研究基盤部会）において運用すべきとされている「研究組織単位の研究設備・機器共用システム（以下、「機器共用システム」といいます）」等の活用を前提としていただきます。

 詳しくは、「4.12 研究設備・機器の共用促進について」を参照してください。

 (注) 研究費（直接経費）として支出できない経費の例

・ 研究開発目的に合致しないもの

・ 間接経費による支出が適当と考えられるもの

・ 委託研究費の精算等において使用が適正でないとJSTが判断するもの

〇 JSTでは、委託研究契約書や事務処理説明書、府省共通経費取扱区分表等により、一部の項目について、本事業特有のルール・ガイドラインを設けています。また、大学等（大学、公的研究機関、公益法人等でJSTが認めるもの）と企業等（主として民間企業等の大学等以外の研究機関）では、取扱いが異なる場合があります。詳しくは、以下のURLにて最新の事務処理説明書等を参照してください。

 https://www.jst.go.jp/contract/index2.html

※2 大学等においては、研究代表者となる者を対象として、一定の要件を満たした場合に限り研究代表者の人件費及び研究以外の業務の代行に係る経費（バイアウト経費）を支出することができます。以下に必要な要件を定めていますのでご確認ください。

○ 「直接経費から研究以外の業務の代行経費を支出可能とする見直し（バイアウト制の導入）及び、直接経費から研究代表者（PI）の人件費の支出について（連絡）」（令和2年9月17日）

 https://www.jst.go.jp/osirase/2020/pdf/20200917.pdf

○「直接経費から研究以外の業務の代行経費を支出可能とする見直し（バイアウト制の導入）」に関するライフサイエンスデータベース統合推進事業（統合化推進プログラム）の対応について

 https://biosciencedbc.jp/funding/files/dicp\_info01.pdf

○「直接経費から研究代表者（PI）の人件費の支出」 に関するライフサイエンスデータベース統合推進事業（統合化推進プログラム）の対応について

 https://biosciencedbc.jp/funding/files/dicp\_info02.pdf

※3 リサーチアシスタント（RA）については、公募要領「4.13 博士課程学生の処遇の改善について」参照。

## 2．目的別の予算計画

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究員等が複数の業務に携わる場合の人件費は、業務ごとのエフォートから算出してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **第１年度**(2022.4～2023.3) | **第2年度**(2023.4～2024.3) | **第3年度**(2024.4～2025.3) | **第4年度**(2025.4～2026.3) | **第5年度**(2026.4～2027.3) | **合計**（百万円） |
| **1)最低限の維持にかかる費用** |  |  |  |  |  |  |
| **2)更新にかかる費用** |  |  |  |  |  |  |
| **3)新たな機能やツールの実装にかかる費用** |  |  |  |  |  |  |
| **4)その他** |  |  |  |  |  |  |
| **合計**（百万円） |  |  |  |  |  |  |

※ 直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。

1) 最低限の維持にかかる費用

ドメイン代、機器の保守費等、研究開発対象のデータベースを公開し続けるために必要な費用

2) 更新にかかる費用

新規データの登録、標準化を行うための人件費、ストレージの増設費等、これまでと同様の規模・頻度で更新し続けるために必要となる費用

3) 新たな機能やツールの実装にかかる費用

データベース間連携、オントロジー開発、技術員の人件費、アドバイザリー委員会の開催等、新たな種類のデータを追加したり、今後の新たな方針を策定したりするための費用

4) その他

成果発表費用・広報費用等

### ○ 特記事項

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 1)、2)の支出予定額が少ないあるいは無い場合、その理由を記載（「他の合算使用可能な費用から支出可能なため不要」等）。

（←ここから記載）

## 3．研究グループ別の予算計画

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究グループの数に応じて行を増減してください。

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | **第１年度**(2022.4～2023.3) | **第2年度**(2023.4～2024.3) | **第3年度**(2024.4～2025.3) | **第4年度**(2025.4～2026.3) | **第5年度**(2026.4～2027.3) | **合計**（百万円） |
| **研究代表者****グループ** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（1）** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（2）** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（3）** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（4）** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（5）** |  |  |  |  |  |  |
| **研究分担者****グループ（6）** |  |  |  |  |  |  |
| **合計**（百万円） |  |  |  |  |  |  |

※ 直接経費のみ記載（間接経費の記載は不要）。

### ○ 購入予定の主要設備（1件500千円以上、機器名、概算価格）

（記入例）

○○グループ

△△△△△△△△△△ 1,500千円

△△△△△△△△△△ 5,000千円

△△△△△△△△△△ 1000千円

○○グループ

△△△△△△△△△△ 700千円

△△△△△△△△△△ 10,000千円

# 業績リスト・事後評価結果（研究代表者）

## 1．本研究開発提案に関連する主要な論文・著書等

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 本研究開発提案に関連するこれまでの主要な論文・著書等の業績を、発表年が最新のものから順に、10件以内で、著者(著者名は全員)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URLを記載してください。
1. （←ここから記載）

## 2．データベース等の開発・運用実績

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* これまでの開発・運用に携わってきたデータベース等について、名称、URL、データベース等の概要、当該データベースにおいて研究代表者が果たした役割を簡潔に記載してください。
1. （←ここから記載）

## 3．競争的研究資金制度等において代表を務めた研究開発課題の事後評価

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 2017年度以降に公開されたもののみ、制度名称、研究課題名、事後評価掲載先URLを記載してください。
1. （←ここから記載）

# 業績リスト（研究分担者）

## 1．本研究開発提案に関連する主要な論文・著書等

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 本研究開発提案に関連するこれまでの研究分担者の主要な論文・著書等の業績を、発表年が最新のものから順に、記載してください。
* 研究分担者1人につき10件以内で、著者(著者名は全員)、発表論文名、掲載誌、巻号・ページ・発表年、URLを記載してください。
1. （←ここから記載）

## 2．データベース等の開発・運用実績

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* これまでの研究分担者が開発・運用に携わってきたデータベース等について、名称、URL、データベース等の概要、当該データベースにおいて研究分担者が果たした役割を簡潔に記載してください。
1. （←ここから記載）

# 主要な特許リスト（研究代表者・研究分担者）

## 1．研究代表者

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると考える重要なものについて、1ページ以内で出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日を記載してください。
1. （←ここから記載）

## 2．研究分担者

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 近年に出願した特許のうち今回の提案に関連すると考える重要なものについて、1ページ以内で出願番号・発明者・発明の名称・出願人・出願日を記載してください。
1. （←ここから記載）

# 他制度での助成等の有無

## **1．**データベースへの助成等

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 直近5年以内に受給した、あるいは申請中・今後申請予定の競争的資金、運営費交付金、共同研究、利用料、寄付金（民間財団・海外機関を含む）等を全て記載してください。
* データベースを対象としたものであれば、本提案の研究代表者、研究分担者以外が受給したものも全て含めてください。
* 必要に応じて行を追加・削除してください。

【過去5年以内に受給していた、あるいは現在受給中】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○大学○○データベース寄付金 |
| **課題名****（代表者名）** | なし |
| **受給額** | **●期間全体**：30百万円(累計)、**●2021年度**：15百万円、**●2022年度**：未定 |
| **受給期間** | 2021.4～（終了時期未定） |
| **本提案との相違点** | 開発対象データベースの維持支援を目的とした寄附金。具体的な使途は限定されていない。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：〇〇百万円、**●2021年度**：〇〇百万円、**●2022年度**：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：〇〇百万円、**●2021年度**：〇〇百万円、**●2022年度**：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：〇〇百万円、**●2021年度**：〇〇百万円、**●2022年度**：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |

【申請中・申請予定】

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○プログラムAタイプ |
| **課題名****（代表者名）** | ○○データの整理・統合 |
| **申請額** | **●期間全体**：3百万円、**●2021年度**：-、**●2022年度**：1百万円 |
| **受給期間** | 2022.4～2025.3（3年間） |
| **本提案との相違点** | ○○機能の高度化のため、○○データを○○データベースへ搭載するもの。対象とする○○データベースは同じだが、本提案では○○機能の高度化は対象外。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：〇〇百万円、**●2021年度**：〇〇百万円、**●2022年度**：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：〇〇百万円、**●2021年度**：〇〇百万円、**●2022年度**：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **受給額** | **●期間全体**：〇〇百万円、**●2021年度**：〇〇百万円、**●2022年度**：〇〇百万円 |
| **受給期間** |  |
| **本提案との相違点** |  |

## 2．研究代表者

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究代表者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む）について（※）、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人/課題全体の受給研究費の額、エフォート等を記載してください。

※ 応募に当たっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、2022年度公募より、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

* 記入内容が事実と異なる場合には、採択されても後日取り消しとなる場合があります。
* 面接選考の対象となった場合には、他制度への申請書、計画書等の提出を求める場合があります。
* 「エフォート」（※）は、申請中・申請予定の助成等は考慮せず、本研究開発提案が採択された場合の研究開発開始時点の値を記載してください。

※ エフォート：研究者の全仕事時間（研究活動の時間のみを指すのではなく、教育活動中や管理業務を含めた実質的な全仕事時間）に対する当該研究の実施に必要とする時間の配分割合。

※ 本項目の詳細は、公募要領「4.2.不合理な重複・過度の集中に対する措置」を参照。

※ 申請中・申請予定の研究助成等について、内容に変更が生じた際は、本様式を修正の上、公募要領巻末に記載された問い合わせ先まで電子メールで連絡してください。

* 必要に応じて行を追加・削除してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **氏名・所属機関名** | **制度名** | **エフォート** |
|  | 統合化推進プログラム | % |

**【現在受給中】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○プログラムAタイプ |
| **課題名****（代表者名）** | ○○についての研究（JST太郎） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（△△大学・特任教授） | **ｴﾌｫｰﾄ** | 50% |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体） 7.5百万円／10百万円**
2. **2023年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**
3. **2022年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**
4. **2021年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**
 | **研究****期間****（年度）** | 2019-23 |
| **本提案との****相違点** | ○○の○○について、○○を用いて明らかにするための研究であり、本提案とは無関係である。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****（年度）** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****（年度）** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

**【申請中・申請予定】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

## 3. 研究分担者

### 3-1.研究分担者（１）

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 研究分担者が現在受けている、あるいは申請中・申請予定の国の競争的資金制度やその他の研究助成等（民間財団・海外機関を含む）について（※）、研究課題ごとに、研究課題名、研究期間、役割、本人/課題全体の受給研究費の額、エフォート等を記載してください。その他、記載要領・注意事項は「2.研究代表者」と同様です。

※ 応募に当たっては、「統合イノベーション戦略 2020」において「外国資金の受入について、その状況等の情報開示を研究資金申請時の要件」とすることとされたことを踏まえ、2022年度公募より、「他制度での助成等の有無」の様式に海外からの研究資金についても記入することを明確にしています。国内外を問わず、競争的資金のほか、民間財団からの助成金、企業からの受託研究費や共同研究費などの研究資金について全て記載してください。

* 研究分担者グループが複数ある場合は、「3-2.研究分担者（2）」、「3-3.研究分担者（3）」・・・というように、項目を増やして記載してください。
* 研究分担者グループ（１）がない場合は「3-1.研究分担者（１）」の項目ごと削除してください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **氏名・所属機関名** | **制度名** | **エフォート** |
|  | 統合化推進プログラム | % |

**【現在受給中】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **例** | **制度名** | ○○プログラムAタイプ |
| **課題名****（代表者名）** | ○○についての研究（JST太郎） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（△△大学・特任教授） | **ｴﾌｫｰﾄ** | 50% |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体） 7.5百万円／10百万円**
2. **2023年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**
3. **2022年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**
4. **2021年度（本人/課題全体） 1.5百万円／2百万円**
 | **研究****期間****(年度)** | 2017-19 |
| **本提案との****相違点** | ○○の○○について、○○を用いて明らかにするための研究であり、本提案とは無関係である。 |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） | **ｴﾌｫｰﾄ** | % |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

**【申請中・申請予定】**

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| **1** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **2** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |
| **3** | **制度名** |  |
| **課題名****（代表者名）** | （） |
| **当該者の役割****（研究費に係る所属機関及び役職）** | 代表／分担者（） |
| **研究費** | 1. **期間全体（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
2. **202３年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
3. **2022年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
4. **2021年度（本人/課題全体）** 〇〇百万円／〇〇百万円
 | **研究****期間****(年度)** |  |
| **本提案との****相違点** |  |

# 人権の保護および法令等の遵守への対応

　本研究開発計画については、遵守すべき法令・ガイドライン等を理解の上策定したことを確認します。

また計画の実施にあたっても、法令・ガイドライン等を遵守して実施することを確認します。

|  |
| --- |
| （遵守すべき法令・ガイドライン等の例）・「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン」（平成26年8月26日文部科学大臣決定。その後の改正を含む）・「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）平成19年2月15日施行/平成26年2月18日改正文部科学大臣決定。その後の改正を含む。）」・安全保障貿易管理（海外への技術漏洩への対処）について、最先端研究の成果等が大量破壊兵器の開発者やテロリスト集団など、軍事転用等の懸念活動を行うおそれのある者に渡らないよう、外国為替及び外国貿易法（外為法）をはじめ、各府省が定める法令・省令・通達等・海外における実地の研究活動（生物資源の持ち出しも含む）や海外研究機関との共同研究を行う際には、関連する国の法律等・ライフサイエンスに関する研究については、生命倫理および安全の確保に関し、各府省が定める法令・省令・倫理指針等 |

　　　*（確認した場合は、*□*にチェックを入れること）*

　　　[ ] 以上につき、確認しました。

# 特記事項

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 3ページ以内で記載してください。

## 1．評価者との利害関係の有無

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 公募要領「2.8.2 利益相反マネジメントの実施 （1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」の記載を確認し、研究代表者・研究分担者と研究総括・研究アドバイザーとの利害関係について記載してください。

### （１） 研究代表者と評価者（研究総括・研究アドバイザー）との利害関係の有無

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

（ア）　研究総括（評価者）との利害関係

* 公募要領「2.6.1 応募者の要件」の項目eにおいて、研究代表者が研究総括と当該事項に定める利害関係に該当する場合は、選考対象から除外されます。本様式では、公募要領「2.8.2 利益相反マネジメントの実施 （1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」に定める「評価者としての研究総括」との利害関係について記述してください。公募要領「2.6.1 応募者の要件」の項目eに定める提案制限に抵触する利害関係には該当しなくとも、以下のいずれかの利害関係が研究総括との間に存在する場合には事情を簡潔に説明してください。

＜選考対象からは除外されないが、評価者としての研究総括との利害関係が認められる場合＞

* 【2.8.2(1) b 研究機関において同一の学科、専攻等に所属している】

 ここでいう同じ学科・専攻等とは、最小の研究単位よりも一つ上のまとまりを指す。

* 【2.8.2(1) e 直接的な競争関係にある】
* 【2.8.2(1) f その他 JST が利害関係者と判断した者】に該当する可能性がある

（例：過去に研究総括と密接な師弟関係や緊密な共同研究の実施があった。）

* 記載に基づき、JST が「選考対象から除外されないが、利害関係にある」と判断した場合は、書類選考会・面接選考会における当該研究代表者の選考に係る議論において、研究総括に発言を控えていただく等の措置を講じます。

（イ） 研究アドバイザーとの利害関係

* 研究代表者と研究アドバイザーの利害関係の有無について記述してください。利害関係が認められる場合には、公募要領「2.8.2 利益相反マネジメントの実施 （1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」のどの要件に該当するかも含めて、その理由を簡潔に記載してください。記載に基づき利害関係にあると JST が判断した研究アドバイザーは、提案書査読の担当から除外され、書類選考会での発言は控えるとともに、面接選考会では対面しない措置を講じますので、利害関係にある研究アドバイザー名を必ず明記してください。なお研究アドバイザー一覧は、NBDCウェブサイトをご参照ください。

https://biosciencedbc.jp/funding/program/dicp/

（ア） 研究総括（評価者）との利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

理由（利害関係がある場合）：

〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて研究総括と共同研究を実施しており、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、fに該当する。

（イ） 研究アドバイザーとの利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

利害関係にある研究アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

＊＊プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、cに該当する。

### （２） 研究分担者と評価者（研究総括・研究アドバイザー）との利害関係の有無

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 公募要領「2.8.2 利益相反マネジメントの実施 （1）選考に関わる者の利益相反マネジメント」の記載を確認し、研究分担者と研究総括・研究アドバイザーとの利害関係の有無について、研究分担者ごとに記載してください。利害関係にある場合はその理由も記入してください。記載に基づき、書類選考会・面接選考会において、当該の研究分担者を体制に含む提案選考の議論の際、研究総括・研究アドバイザーに発言を控えていただく等の措置をJSTにて講じることがあります。
* 記入欄は研究分担者の人数分コピーし、該当が無い場合も「無」にチェックを記入してください。

#### （a） 研究分担者（1）：〇〇　〇〇（〇〇大学）

（ア） 研究総括（評価者）との利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

理由（利害関係がある場合）：

〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて研究総括と共同研究を実施しており、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、fに該当する。

（イ） 研究アドバイザーとの利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

利害関係にある研究アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

＊＊プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、cに該当する。

#### （b） 研究分担者（2）：△△　△△（△△大学）

（ア） 研究総括（評価者）との利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

理由（利害関係がある場合）：

〇〇プロジェクト（20XX年～20XX年）にて研究総括と共同研究を実施しており、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、fに該当する。

（イ） 研究アドバイザーとの利害関係：　[ ] 有　　[ ] 無

利害関係にある研究アドバイザー名：△△　△△

理由（利害関係がある場合）：

＊＊プロジェクトにおいて現在共同研究を行っており、公募要領2.8.2(1)に定める利害関係者の要件のうち、cに該当する。

## 2．その他

【註記】提案書中の註記部分（緑字の部分）は記載上の注意なので、提出時は削除してください。

* 本プログラムに応募した理由、研究に際しての希望、異動予定がある等、ご事情、その他について記載してください。

（←ここから記載）

# 提出前確認チェックシート（※本シートは削除し、提出しないでください）

## ○ 締切（2022年1月31日（月）正午）に十分余裕を持ってご確認ください

|  |  |
| --- | --- |
| **主な確認ポイント** | **チェック欄** |
| e-Radへの研究者登録が済んでいるか「別紙1　e-Radでの応募について」参照。 | □ |
| 研究倫理に関する教育プログラムを修了したか公募要領「4.1 研究倫理教育に関するプログラムの受講・修了について」参照。 | □ |
| 研究総括と利害関係がないか※公募要領「2.6.1応募者の要件」の項目e（本プログラムの研究総括との利害関係に関する項目）参照。 |  |
| A | 研究総括と親族関係にある。 | 該当なし□ |
| B | 研究総括と大学、国立研究開発法人等の研究機関において同一の研究室等の最小単位組織に所属している。あるいは、同一の企業に所属している。 | 該当なし□ |
| C | 現在、研究総括と緊密な共同研究を行っている。又は過去3年以内に緊密な共同研究を行ったことがある。(緊密な共同研究の有無は、例えば、共同プロジェクトの遂行、研究課題の中での研究分担者あるいは共著研究論文の執筆等、それぞれの内容から判断します。) | 該当なし□ |

※ 明確に判断し難い項目が1つでもある場合、事前に公募要領巻末の問合せ先まで問い合わせ願います。

## ○ 提出期限について

締切間際はe-Radのシステム負荷が高く、応募に時間がかかる、完了できない等のトラブルが発生しています。時間的余裕を十分に取って、応募を完了するようお願いいたします。

## ○ 各様式について

提案書については漏れがないかチェックの上、提出してください。なお、提案書に不備がある場合には不受理となる可能性がありますので、ご注意ください。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | **項目** | **主な確認ポイント** | **チェック** |
| 全体 |  | PDF変換後のファイルに文字化け、図表の抜け、見切れ等がないか。 | □ |
| 表紙 |  | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式2 | 構想 | 「7.利益相反に関するマネジメントに関する申告」に必要事項の記載漏れがないか。 | □ |
| 「8.若手研究者の多様なキャリアパスの支援について」に必要事項の記載漏れがないか。 | □ |
| 様式3 | 実施体制 | 記載漏がないか(特に研究分担者の「所属研究機関コード」、「研究者番号」)。 | □ |
| 様式4 | 予算計画 | 各表の合計値と表紙の総額とが一致しているか。 | □ |
| 様式8 | 他制度での助成等の有無 | 記載漏れがないか。 | □ |
| 様式9 | 人権の保護および法令等の遵守への対応 | チェック漏れがないか。 | □ |

# 改訂履歴

（※本シートは削除し、提出しないでください）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 版 | 改訂日 | 内容 |
| 1.0 | 2021/12/15 | 初版公開 |
| 1.1 | 2022/01/28 | ・様式4 「IV. 予算計画」の「購入予定の主要設備」につき、「1件5百円以上」の記載を「1件500千円以上」へ改訂。・改訂履歴ページを新規追加。 |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |
|  |  |  |